

【NCCオンコパネルシステム】提出方法

- ・ ご依頼の際は、『NCCオンコパネルシステム依頼書』をご利用ください。なお、本検査ご依頼の際は、核酸抽出NCCオンコパネル（項目コード：27645）を併せてご依頼ください。
- ・ 検体2種類（未染スライドとEDTA-2K加血液）と専用依頼書およびC-CAT IDリストを併せてご提出ください。
 - ①未染スライド 5枚（10 μ m厚）もしくは10枚（5 μ m厚）／常温
 - ②EDTA-2K加血液 2mL／冷蔵（採血後14日を越える場合は、全血のまま凍結（-20 $^{\circ}$ C以下）で保存してください。）（①と②を必ず併せてご提出ください。）
- ・ 依頼書に記入漏れがないことをご確認ください。
（検査受託における患者同意確認の有無など、患者識別IDおよび検体識別番号の記入）
- ・ 受付曜日：月～金曜日（日曜日および祝日とそれらの前日は不可）
- ・ 本検査では腫瘍細胞含有率情報が必要となりますので、必ず腫瘍細胞含有率を記入してください。（腫瘍細胞含有率は20%以上が推奨されています。）
- ・ 腫瘍細胞含有率が20%未満の場合は、マクロダイセクション実施のボックスにチェックを入れ、全ての未染標本スライドの裏面から腫瘍部をマークしてご提出ください。
- ・ ご提出のスライドは、組織採取後、3年以内のものが推奨されています。（固定は10%中性緩衝ホルマリン溶液で48時間以内を推奨）
- ・ 1スライド当たり16mm²程度の組織をご提出ください。
- ・ 組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては、解析不能となることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ コンタミネーションの防止
切片作成時に別の患者由来FFPEとのコンタミネーションを避けるため、以下の操作を行ってください。
 - *検体ごとに毎回新たなマイクロームブレードを使用してください。
 - *ウォーターバスは検体ごとに毎回洗浄してください。
 - *手袋は頻繁に交換してください。